



Japan Translation Federation

# 日本翻訳ジャーナル

社団法人日本翻訳連盟機関誌

2011年1月/2月号

## — CONTENTS —

### Report

巻頭言.....	1
《特集》20周年記念翻訳祭.....	2
経営者の声.....	9
現場の声.....	10
翻訳者の声.....	11

### Honrenso

ほうれんそう No. 149.....	12
---------------------	----

### Information

翻訳環境研究会報告.....	14
西日本セミナー報告.....	15
法人会員プロフィール.....	16
個人会員プロフィール.....	17
ニューフェイス.....	18
事務局だより.....	18

社団法人日本翻訳連盟

〒104-0031

東京都中央区京橋3-9-2 宝国ビル7F

TEL ■ 03-6228-6607

FAX ■ 03-6228-6604

発行人 ■ 東 郁男 (会長)

編集人 ■ 河野 弘毅

DTP ■ (有) デジタル・ワークス

E-mail ■ info@jtf.jp

URL ■ <http://www.jtf.jp/>

## 2011年 年頭にあたって

丸山 均 JTF 副会長 (株)ジェスココーポレーション 代表取締役

あけましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。

JTFが任意団体として発足したのが1981年4月ですから、今年でちょうど満30年を迎えることになります。

“Japan as No.1”の80年代から、一転して90年の“バブル崩壊”、そして“失われた20年”へと続くわけですが、この間多くの翻訳会社の“栄枯盛衰”を見てきました。しかし古い話はやめに、ここ数年間の話を取り上げてみようと思います。

### 東京都の翻訳会社数が減少。なぜ？

私が2007年10月にタウンページのデータベースで「翻訳」「東京都」を検索したところ、812社の事業所がヒットしました。

それが2010年11月に同じように検索したところ、670社に減っていました。わずか3年間で142社(17%減)も減少していたのです。しかしこれは東京都だけの現象のようで、神奈川県では131社→125社(6社減)、愛知県では84社→95社(11社増)、大阪府では150社→170社(20社増)と逆に首都圏以外では増えています。

過去に何回かタウンページを使って翻訳会社数を調べたことはありますが、少なくとも「翻訳会社数が減った」という現象はありませんでした。ここへきてなぜ急に東京都だけが減少したのでしょうか？理由を3つほど考えてみました。皆さんはどう思いますか？

(理由1) 地方の翻訳会社が仕事を求め首都圏に支店を出していたが、不況により採算がとれなくなり撤退した。

(理由2) リーマン・ショック後に金融翻訳の仕事が冷え込んだため、表面には現れない“スクラップ&ビルド”が頻繁に行われた。理由は定かではないが登録されている翻訳会社の顔ぶれは大きく変わっている。

(理由3) インターネット環境の格段の進歩。安くて性能の良い各種OA機器の普及と高速通信網の発達により、日に日にネット環境は改善されつつある。“東京都心に近い”という翻訳会社の地理的アドバンテージも少しずつ失われつつあるということか。

### “翻訳業界”景気の今後の行方

2009年3月期の上場企業の最終損益は、非製造業が4兆2,523億円(黒字)、金融業が▲2,100億円(赤字)、「電機機器」が▲2兆3,400億円(赤字)、「自動車・部品」が▲7,302億円(赤字)、その他の製造業が1兆2,284億円(黒字)でした。

つまり「電機機器」と「自動車・部品」の両業界だけで▲3兆702億円という膨大な赤字を生み出していたのです。騒がれた金融業の赤字は実は▲2,100億円に過ぎません。

あれから2年が経ち、上場企業の今年3月期決算は、製造業を中心に業績が急回復する見込みです。

製造業が元気になれば日本の景気は必ず上昇傾向に向かいます。現に2010年半ば頃から、ようやく日本の翻訳業界にも活気が戻りつつあると肌で感じています。2011年の翻訳業界は今までの反動もあり、大変な活況を呈するのではないかと期待しています。

